神経精神科がおすすめする初期臨床研修プラン

神経精神科の大学での研修は、日本精神神経学会専門医制度指導医のスーパーバイズを受けながら、外来通院患者および病棟患者の担当医として診療を行い、専門医取得に必要な技術、知識の研鑽を行うことを目的としています。高度専門医療機関である大学病院の神経精神科として、主に急性期と難治性の症例を中心に、症状性・器質性精神障害（F1）と、統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）を含む多様な精神疾患の治療や、難治性の統合失調症患者に対してのクロザピン治療や修正型電気けいれん療法（m-ECT）も多数実施しています。

精神科医を志望する研修医は、1 年目は内科および救急など医療の基礎となる分野でしっかり研修を行い、その上で神経精神科を 4 週間選択して、精神科への理解を深め、将来なりたい精神科医像を思い描いてもらいたいと思います。2 年目については、長期に選択することで、精神科専門医取得に向けたトレーニングを早期に開始できる利点があります。一方、様々な診療科で研修することが、精神科リエゾンの観点では将来役に立つ経験になることから、精神科は短期の選択にするという考えもあります。当科としては、どちらの考え方も支持します。

１．研修病院の選択

A･B コース

下記協力型研修病院に、当科から経験ある精神科医を常勤で派遣しています。精神科の専攻医研修および大学の教室行事やセミナーについての情報など得られやすいと思います。また、いずれも道内各地の中核となる病院で、精神科医療については急性期から慢性期まで経験できます。

C コース

大学病院での研修を軸に、協力型研修病院と研修施設での短期研修を組み合わせることができます。

精神科の教育関連施設			
協力型研修病院 （たすきがけ病院）	江別市立病院 北見赤十字病院	砂川市立病院 帯広厚生病院	北海道立江差病院
研修協力施設	五稜会病院	中江病院	ときわ病院

２．精神科医になるために研修が望ましい診療科

特にありませんが、脳神経内科や脳神経外科など、中枢神経を取り扱う診療科の研修があればよいと思います。

３．コース選択

Aコース： 地域の中核病院で多様な症例を経験できる

1年次　大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科						必修 救急			必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科
2年次　協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 脳神経 内科/外科	選択 精神科										

Bコース： 大学病院で専門領域も学ぶことができる

1年次　協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科						必修 救急			必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科
2年次　大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 脳神経 内科/外科	選択 精神科										

Cコース： 大学中心

1年次　大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科						必修 救急			必修 外科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 精神科
2年次　大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 地域医療	選択 脳神経 内科/外科	選択 精神科		選択 精神科 (協力型 研修病院)	選択 精神科				選択 精神科 (協力型 研修病院)	選択 精神科		